

1 結核対策事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」という。)に基づき健康診断を実施し、患者の早期発見や発症予防に努めるとともに、発見された患者については早期治癒に向けての生活指導等を実施しました。

(1) 結核登録状況

ア 新登録患者数：(年次推移) (各年累計)

区分 年	新登録患者数			罹患率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成30年	15,590	1,024	60	12.3	11.2	8.35
令和元年	14,460	987	57	11.5	10.7	7.9
令和2年	12,739	808	53	10.1	10.7	7.3
令和3年	11,518	748	47	9.2	8.1	6.5
令和4年	10,234	701	48	8.2	7.6	6.6

令和4年は概数

イ 全登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

区分 年	全登録者数			登録率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成30年	37,134	2,774	140	29.4	30.3	19.4
令和元年	34,523	2,546	143	27.4	27.7	19.8
令和2年	31,551	2,319	132	25.0	25.1	18.3
令和3年	27,752	1,996	118	22.1	21.6	16.3
令和4年	24,554	1,780	116	19.7	19.3	16.0

令和4年は概数

ウ 活動性全結核登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

区分 年	活動性全結核登録者数			有病率(人口10万対)		
	全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
平成30年	10,448	690	36	8.26	7.52	4.98
令和元年	9,695	637	40	7.68	6.92	5.53
令和2年	8,640	543	40	6.85	5.88	5.53
令和3年	7,744	509	38	6.17	5.51	5.23
令和4年	6,782	457	35	5.43	4.95	4.82

令和4年は概数

工 活動性分類別・新登録患者数

(各年累計)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結核 活動性		
		総 数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
平成 30 年	60	49	26	21	2	11	19	
令和元年	57	42	23	16	3	15	23	
令和 2 年	53	40	23	12	5	13	26	
令和 3 年	47	40	23	12	5	7	34	
令和 4 年	48	36	20	12	4	12	30	
(再掲) 内 訳	20 歳未満	1	1	0	0	1	0	9
	20～29 歳	2	0	0	0	0	2	0
	30～39 歳	7	7	2	4	1	0	0
	40～49 歳	4	4	1	2	1	0	2
	50～59 歳	2	2	2	0	0	0	7
	60～69 歳	6	5	1	4	0	1	2
	70 歳～	26	17	14	2	1	9	10

オ 活動性分類別・年齢階級別年末現在登録者数

(令和 4 年 12 月 31 日現在)

年齢階級別	年 末 現 在 登 録 者 数									潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	活 動 性 結 核						不活動 性結核	活動性 不明		
		総 数	肺 結 核 活 動 性			肺外結 核活動 性					
総 数	総 数	総 数	登録時 喀痰塗 抹陽性	その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他		性	性	性		
総 数	116	31	22	9	11	2	9	45	40	48	
(再掲) 内 訳	20 歳未満	1	1	1	0	0	1	0	0	0	9
	20～29 歳	10	2	0	0	0	0	2	6	2	1
	30～39 歳	12	5	5	2	3	0	0	3	4	4
	40～49 歳	14	3	3	0	2	1	0	6	5	6
	50～59 歳	10	2	2	2	0	0	0	7	1	5
	60～69 歳	15	3	3	0	3	0	0	6	6	4
	70 歳～	54	15	8	5	3	0	7	17	22	19

(2) 定期健康診断

感染症法に基づき、結核患者の早期発見のため、胸部エックス線検査を受ける機会のない65歳以上の人を対象に市民結核健康診断を実施しました。

年度	胸部エックス線検査受検者数
平成29年度	1,704
平成30年度	1,694
令和元年度	1,564
令和2年度	934
令和3年度	842
令和4年度	1,222

(3) 接触者健康診断

感染症法に基づき結核患者の家族や接触者に胸部エックス線検査やIGRA検査等を実施し、感染者の発見と発病予防、発病者の早期発見及び感染源の把握に努めました。

また、事業所や施設等において結核患者が発生した場合には、状況を調査し、接触者に対する健康診断の実施結果報告を求めました(令和4年度は、11か所(病院2か所、福祉施設6か所、事業所等3か所)を対象に訪問調査を実施)。

受診者数	健診内容(延)				健診結果			医療機関紹介の受診結果				
	胸部エックス線検査	ツベルチン反応検査	喀痰検査	IGRA検査	異常なし	医療機関紹介	要観察	結核治療開始	LTBI治療開始	IGRA陽性要観察	その他	未受診
193	27	0	0	177	172	21	0	1	19	1	0	0

(4) 結核患者管理指導

結核患者の早期治療に向けて、各種情報を集約し病状把握に努めるとともに、療養上の支援を行いました。

ア 管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき精密検診を実施し、病状経過の把握に努めました。

受診者数	検診内容(延)		検診結果		
	胸部エックス線検査	喀痰検査	異常なし	医療機関紹介	要観察
27	27	0	26	1	0

イ 結核定期病状調査

結核登録者のうち、病状把握の困難な者については、医療機関等から報告を受け、病状等を把握し、訪問指導等の結核対策の迅速化と円滑化を図り、結核の再発や二次感染の防止に努めました。

報告件数 53件

ウ 結核患者保健指導

入院や通院治療をしている結核登録者に対し、面接または訪問を行い患者本人の治癒に向けた服薬指導を行いました。また、本人や家族等から正確な情報収集を行い、適切な対象に健診が実施できるよう努めました。

指導内訳(延人数)				
訪問	電話	面接	文書	会議
264	1,506	80	871	314

(5) 結核患者の服薬支援(地域DOTS事業)

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に結核患者の服薬支援を行いました。

ア 訪問服薬支援員制度・薬局DOTS制度

訪問服薬支援員制度として、市に登録している看護師等が結核患者の自宅を訪問し、服薬確認を行いました。薬局DOTS制度については、市に登録している薬局に結核患者が通い、薬剤師が服薬確認を行います。

訪問服薬支援員制度及び薬局DOTS制度による支援患者数	
訪問服薬支援員制度	薬局DOTS制度
1人(延べ7回)	9人(延べ31回)

イ DOTSカンファレンス

結核患者の服薬支援計画についての評価・検討を定期的(1回/月)に実施することにより、より良い服薬支援につなげ、治療完了率の向上を図ることに努めました。

カンファレンス件数 延べ171件(12回/年)

DOTSカンファレンスの内訳(件)			
登録・退院後1ヵ月	登録後4ヵ月	LTBI登録後1ヵ月	LTBI登録後4ヵ月
63	49	29	30

ウ コホート検討会

結核患者の治療成績を分析するとともに、患者支援の評価・見直しを行い、地域DOTS体制の推進を図ることを目的として、喀痰塗抹陽性患者を対象に検討会を開催し、結果については関係機関に還元しました。

コホート検討会の内訳(件)			
コホート検討	死亡事例	失敗事例	脱落事例
13	4	0	0

エ 結核対策評価会議

結核患者の治療成績の分析及び支援方法の評価を踏まえ、事業全体の評価と見直しを行い、地域の結核対策全般に関する課題検討を行いました。

実施日：令和5年3月10日(金)

参加者数：20人 内訳(有識者4人、医療機関6人、その他10人)

(6)感染症診査協議会(結核診査部会)

感染症法に基づき、委員8名で構成し、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議しました。

公費負担については、一般結核患者(37条の2)は厚生労働省令で定める医療に要した費用の95%を、入院患者(37条)については医療費の全額を負担しました。

医療費負担区分別公費負担申請件数(感染症法第37条の2)

(各年累計)

区分 年	種別	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢 者医療	生活保護法	その他
			本人	家族				
平成30年	申請	101	31	1	27	34	7	1
	承認	101	31	1	27	34	7	1
令和元年	申請	120	35	3	29	48	5	0
	承認	120	35	3	29	48	5	0
令和2年	申請	101	35	4	22	35	5	0
	承認	101	35	4	22	35	5	0
令和3年	申請	112	35	4	25	42	6	0
	承認	112	35	4	25	42	6	0
令和4年	申請	111	25	12	30	35	8	1
	承認	109	25	12	29	34	8	1

当該年中に合否の決定がなされたものを計上

感染症法に基づく入院勧告による入院患者数及び公費負担申請(感染症法第 37 条)件数

年	区分	入院患者数		公費負担申請件数 (各年累計)
		(各年累計)	(各年末現在)	
平成 30 年		25	6	77
令和元年		25	2	67
令和 2 年		23	8	61
令和 3 年		24	2	69
令和 4 年		17	3	64

当該年中に入院勧告を行った又は公費負担申請のあったものを計上
33 日間を超える入院が必要な場合は、感染症診査協議会で予め最大 30 日間の入院期間延長の決定をした上で、公費負担の継続申請の手続きが必要となる。

(7) 結核予防啓発事業

結核に対する正しい知識の普及を図り、結核のまん延を未然に防止するため、各種予防啓発事業を実施しました。

ア 結核予防週間

毎年 9 月の最終週が厚生労働省により結核予防週間に定められ、市ホームページへの記事掲載、職域保健との連携、ポスターの配布等を通じて、啓発事業を行いました。

イ 複十字シール運動

財団法人結核予防会が主催している複十字シール運動に協力し、パンフレットの配布を行いました。

ウ 研修会

社会福祉施設向け研修会

例年、市内の福祉施設等の職員を対象に、結核に対する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施していますが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

医療従事者研修会

結核の現状、課題及び治療の知識等を深めることにより、患者の早期診断、標準治療の普及、院内感染防止等を目的とし、市内の結核医療に従事する医療機関、施設等の関係者を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和 5 年 1 月 18 日(水)
会場 ウェルネスさがみはら 5 階 相模原市医師会会議室
テーマ 「コロナ禍における結核診療のポイント」
講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所
医師 平尾 晋 氏

参加者数 57人(WEB 50人)

エ 外国人無料なんでも相談会

例年、さがみはら国際交流ラウンジ運営機構主催の外国人無料なんでも相談会(無料結核検診)にて神奈川県結核予防会と連携し健康相談等を実施していますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

2 感染症対策事業

感染症法に基づき、感染症発生時には、その類型に応じ、患者等の人権の保護に配慮し、積極的疫学調査、健康診断、その他必要な措置の迅速な対応に努めました。また、感染症発生の状況及び原因の調査を行い、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るとともに、感染症対策の効果的な実施を図るため、感染症発生動向調査を実施しました。

(1) 感染症発生届出状況 (年次推移)

(各年累計)(令和4年は暫定数)(件数)

年	区分	計	二類(結核除く)					三類					
			急性灰白髄炎	ジフテリア	呼吸器症候群	重症急性	(H5N1)	鳥インフルエンザ	(H7N9)	鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス
平成30年	全県	317	0	0	0	0	0	0	0	15	2	0	300
	市	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8
令和元年	全県	201	0	0	0	0	0	0	1	3	6	2	189
	市	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
令和2年	全県	178	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	173
	市	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9
令和3年	全県	254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	254
	市	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
令和4年	全県	226	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	224
	市	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25

令和4年に相模原市保健所への四類感染症の届出は、E型肝炎6件、つつがむし病2件、レジオネラ症10件の合計18件でした。

五類感染症(全数把握対象)は、アメーバ赤痢4件、ウイルス性肝炎4件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症17件、急性脳炎5件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、後天性免疫不全症候群2件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症6件、水痘(入院例)1件、梅毒26件、播種性クリプトコックス症1件、百日咳2件の合計70件でした。

(2) 感染症診査協議会(感染症診査部会)

感染症診査協議会では、感染症患者に対する入院勧告及び入院期間の延長、就業制限に

関する必要事項を審議しました。

開催回数 122 回

(3) 感染症患者等保健指導

本人・家族・社会福祉施設等から正確な情報収集を行い、感染症の予防やまん延防止に努めました。

指導内訳(延人数)			
訪問(調査)	電話	面接	文書(メール)
9	293	24	44

(4) 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況

(令和4年9月5日～令和5年5月21日累計)

施設	保育園・幼稚園	小学校	中学校	その他の学校	計
施設閉鎖数	0	0	0	0	0
学年閉鎖数	1	6	0	1	8
学級閉鎖数	7	155	24	6	192

施設閉鎖、学年閉鎖の学級数は学級閉鎖数に含む

(5) 感染症予防啓発事業

感染症の予防やまん延防止等を目的として、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ・ 広報さがみはらに記事を掲載
- ・ 電子母子健康手帳アプリ「さがプリコ(母子モ)」のお知らせ機能を使用したインフルエンザ流行の注意喚起情報の配信

(6) 感染症発生動向調査事業

(令和5年3月31日現在)

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、感染症の発生の状況、動向及び原因の調査を行い、関係機関に情報の提供を行いました。

- ・ 全数把握対象疾患：一～四類感染症全て、新型インフルエンザ等感染症、五類感染症のうち24疾患及び指定感染症の計90疾患
- ・ 定点把握対象疾患(指定医療機関からの届出)：五類感染症のうち24疾患
患者定点：33 医療機関、病原体定点：7 医療機関、疑似症定点：3 医療機関

(7) 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止や陽性患者等への適切な医療体制確保、各協力医療機関への支援等を目的とし、各種事業を実施しました。

ア 相談体制の構築

新型コロナウイルス感染症に関する相談センターを設置し、各種問合せや相談に対応し

ました。(設置日:令和2年11月2日)

【令和4年度 相談件数】

名称	件数
新型コロナウイルス感染症相談センター	137,250件

イ 検体採取・検査実施関連業務

感染症法第15条第3項の規定に基づき、医療機関等で採取された検体の回収を行い、PCR検査等を実施しました。

【令和4年度 検体採取実績】

検体採取機関	採取件数
拠点診療外来	145件
行政検査契約締結医療機関	221,402件

令和4年5月から相模原市医師会PCR検査センターは休止

【検体回収】

医療機関の負担軽減、迅速な検査につなげるため、外部業者に委託し、各医療機関からの検体回収を行いました。

【令和4年度 衛生研究所における検査実施実績】

検査人数	3,009人
検査件数	3,009件

ウ 積極的疫学調査・健康観察・入院調整等

患者が発生した場合に、患者やその周辺者から過去の行動歴の聞き取りを行い、濃厚接触者の特定や検査等への調整を行いました。陽性者については、必要に応じて健康観察を行い、体調の状態に応じて、入院等の調整を行いました。

令和4年9月26日から、全国一律で感染症法に基づく医師の届出(発生届)の対象は、65歳以上の方、入院を要する方など重症化リスクの高い4類型に限定されました。

【相模原市新型コロナウイルス感染症入院調整チーム(S-Chat)】

病床ひっ迫の軽減を図るため、相模原市新型コロナウイルス感染症入院調整チーム(S-Chat)を令和4年11月25日に発足し、神奈川モデル認定医療機関等と緊密な連携を図り、一体となって入院調整を行いました。

「S-Chat」とは「相模原市新型コロナウイルス感染症入院調整チーム」を英訳(Sagamihara city COVID-19 Coordinating hospitalization admission team)し、頭文字を合わせた通称。

・令和4年度会議開催回数 13回

エ 陽性者の公表・市民周知

新規陽性患者の報道発表や、市ホームページにおいて累計陽性者数の周知等を毎日行いました。

・令和4年度公表者数 111,665人

オ 軽症者宿泊療養施設の運営

令和2年4月20日から、旧北里大学東病院の元看護師寮を借用し、神奈川モデルの一環として相模原宿泊療養施設の運営を行いました。

・令和4年度累計入所者数 629人

カ 患者移送等業務

令和2年5月14日から、相模原市防災協会へ委託し、陰圧車による陽性者や疑似症患者の移送を行いました。また、令和3年5月1日から、新型コロナウイルス感染症病床の確保を目的として、民間業者を活用し、転院等搬送業務を行い、令和4年12月1日から、相模原市防災協会への移送委託を民間業者への転院等搬送業務委託に一本化しました。

・令和4年度移送件数 1,506件

キ 市内医療機関に対する主な支援

新型コロナウイルス感染症に関する協力医療機関へ、各種補助金を交付しました。

【病床確保協力金】

新型コロナウイルス感染症に係る神奈川モデル認定医療機関等に対し、謝礼金を支給しました。

・令和4年度支払実績 対象 14医療機関

【新型コロナウイルス感染症回復患者転院受入医療機関支援補助金】

新型コロナウイルス感染症患者の回復期にある患者の転院を受け入れる医療機関に対し、補助金を交付しました。

・令和4年度支払実績 対象 11医療機関

【新型コロナウイルス感染症に関する医師派遣事業補助金】

新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れを行っている医療機関へ医師の派遣を行う医療機関に対し、補助金を交付しました。

・令和4年度支払実績 対象 10医療機関

【拠点診療外来運営医療機関支援事業補助金】

市の依頼に応じて診療、検査等を柔軟に行っている拠点診療外来運営医療機関に対し、補助金を交付しました。

・令和4年度支払実績 対象 3医療機関

令和3年10月1日付けで帰国者・接触者外来運営医療機関支援事業補助金より名称変更

ク 新型コロナウイルス感染症予防啓発事業

福祉事業所等を対象に新型コロナウイルス感染症対策に関する講演を実施しました。

- ・令和4年度実施件数 1件

(8) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、国の方針に基づき、新型コロナウイルスワクチン（以下「ワクチン」という。）接種の推進に向け、各種取組を実施しました。

- ・60歳以上の方への4回目接種（令和4年6月開始）
- ・12歳以上の方へのオミクロン株対応ワクチンの接種（令和4年9月開始）
3・4回目接種は9月開始、5回目接種は11月開始
- ・5～11歳の方への3回目接種（令和4年10月開始）
- ・生後6か月～4歳の方への初回接種（令和4年11月開始）
- ・5～11歳の方へのオミクロン株対応ワクチンの接種（令和5年3月開始）

ア 接種状況

令和5年4月2日現在

	接種者数（人）			接種率（％）		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
生後6か月～4歳	1,223	1,040	544	5.5%	4.7%	2.4%
5～11歳	10,597	10,333	4,172	26.2%	25.6%	10.3%
12～19歳	35,557	35,284	24,361	71.4%	70.8%	48.9%
20歳代	63,607	62,933	44,378	81.0%	80.1%	56.5%
30歳代	66,682	66,230	49,552	81.8%	81.3%	60.8%
40歳代	89,098	88,722	72,359	82.2%	81.9%	66.8%
50歳代	99,296	99,021	88,579	91.5%	91.2%	81.6%
60歳代	72,270	72,130	68,825	91.3%	91.1%	86.9%
70歳代	83,862	83,731	81,900	92.3%	92.1%	90.1%
80歳代	48,799	48,694	47,664	100.5%	100.3%	98.2%
90歳代	9,214	9,184	8,976	101.0%	100.6%	98.3%
100歳以上	296	295	285	94.2%	93.9%	90.7%
年齢不詳・ 死亡者等	11,707	11,276	6,344	-	-	-
総数	580,388	577,500	493,223	88.6%	88.2%	75.3%

	接種者数（人）			接種率（％）		
	4回目	5回目	オミクロン	4回目	5回目	オミクロン
5～11歳	85	-	195	0.2	-	0.4%
12～19歳	9,098	36	13,566	18.2%	0.0%	27.2%
20歳代	14,475	1,544	17,827	18.4%	1.9%	22.7%
30歳代	20,261	2,753	22,062	24.8%	3.3%	27.0%
40歳代	37,809	5,971	38,549	34.9%	5.5%	35.5%
50歳代	58,496	11,964	57,491	53.9%	11.0%	53.0%
60歳代	59,613	42,474	54,458	75.3%	53.6%	68.8%
70歳代	77,137	67,715	72,649	84.9%	74.5%	79.9%
80歳代	44,793	38,445	41,739	92.3%	79.2%	86.0%
90歳代	8,327	6,481	7,412	91.2%	71.0%	81.2%
100歳以上	269	204	235	85.6%	64.9%	74.8%
年齢不詳・ 死亡者等	2,844	778	1,141	-	-	-
総数	333,122	178,365	327,129	50.9%	27.2%	49.9%

イ 接種体制の構築

ワクチン接種に必要な実施方式や開始時期、予約方法等について、医療関係団体（市医師会、市病院協会、市薬剤師会）と協議を重ね、接種体制を構築しました。

ウ 専用コールセンターの設置

Web予約が難しい方の予約やクーポン券（接種券）の再発行、接種に関する相談、医療機関からの連絡等に関して、窓口を一元化したワクチン接種コールセンターを設置し、予約受付や各種問合せに対応しました。

・応答件数：263,873件（令和4年度実績）

エ 12歳以上の接種

（ア）接種体制

医療機関で実施する個別接種、市が設置する会場で実施する集団接種及び高齢者施設等への訪問接種により、接種を実施しました。

個別接種協力医療機関数

令和5年3月31日現在

緑区	中央区	南区	合計
51	70	81	202

集団接種会場数

令和5年3月31日現在

緑区	中央区	南区	合計
10	5	4	19

訪問接種実施施設数

令和5年3月31日現在

高齢者施設等	障害者施設
232	10

オミクロン株対応ワクチン接種の実施施設のみ

(イ) 接種推進の取組

a 一元化した予約管理

予約システムを活用し、個別接種及び集団接種の予約を市が一元的に管理することで、予約の際に市民が予約枠の空き状況を把握できるようにするとともに、予約状況に応じた接種体制の見直しやワクチン廃棄を抑える効率的なワクチン管理を行いました。

b インターネット予約等支援の実施

Web 予約を利用することが難しい高齢者向けに、予約支援専用会場を9か所設け、インターネット予約等の入力支援を行いました。

【4回目接種】実施時期：令和4年6月18日から同年7月30日まで

予約件数：989件

【5回目接種】実施時期：令和4年11月5日から同年12月10日まで

予約件数：992件

c 障害者を対象とした接種会場の設置

障害のある方が安心して接種を受けられるよう、専用の接種会場を設置し、接種の促進を図りました。令和4年度は、接種会場を1か所拡充するとともに、5～11歳の障害児を対象とした接種も2か所で実施しました。

【接種実績】12歳以上：329人

(接種会場：障害者支援センター松が丘園、津久井保健センター)

5～11歳：28人

(接種会場：障害者支援センター松が丘園、緑区合同庁舎4階)

d 夜間接種の実施

若い世代への接種を促進するため、駅から近い集団接種会場の一部で一定期間、最大午後9時まで夜間接種を実施しました。

e 「日時・会場指定方式」の実施

高齢者の予約負担を軽減するため、あらかじめ接種日時と集団接種会場を指定することで予約を不要とし、お住いの近くで接種をすることができる「日時・会場指定方式」を実施しました。

【4回目接種】指定人数：84,678人

【5回目接種】指定人数：76,566人

f 当日予約接種の実施

集団接種会場の空き予約枠を有効活用した当日予約を実施し、接種当日の受付終了時間まで予約を受け付け、接種を行いました。

g 企業・大学向け団体接種の実施

集団接種会場の空き予約枠を有効活用し、市内4か所の集団接種会場において、企業・大学等の単位での団体接種を実施しました。

h ホームタウンチームと連携した取組の実施

複数のホームタウンチームと連携し、スタジアムでの動画の放映、チームのSNSによる発信、集団接種会場でのチームグッズの展示等により、若い世代に向けた3回目接種促進を図りました。

オ 小児接種（5～11歳）の実施

医療機関で実施する個別接種により、接種を実施しました。

また、接種希望者への接種機会を確保するため、1・2回目接種及び3回目接種開始時に集団接種を実施しました。

個別接種協力医療機関数

令和5年3月31日現在

緑区	中央区	南区	合計
9	9	18	36

集団接種会場数

令和5年3月31日現在

緑区	中央区	南区	合計
1	1	0	2

カ 乳幼児接種（生後6か月～4歳）の実施

令和4年11月15日から、医療機関で実施する個別接種により、接種を実施しました。

個別接種協力医療機関数

令和5年3月31日現在

緑区	中央区	南区	合計
8	5	12	25

キ 広報・情報発信

予約開始スケジュールやクーポン券（接種券）の発送時期、接種会場などの情報発信を行いました。

・主な実施方法：市ホームページ、予約受付専用Webサイト、LINE、保健所メール、広報さがみはら、地域情報誌

上記のほか、エフエムさがみ、tvk自治体データ放送、公共施設へのポスター配布、乳幼児健診でのリーフレット配布 等

ク 予防接種証明書(ワクチンパスポート)の発行

本人等の申請に基づき、予防接種証明書の交付や、スマートフォン用アプリによる電子証明書の即時交付を行いました。また、令和4年7月26日から、コンビニエンスストア等での証明書自動交付サービス(コンビニ交付)により即時交付を実施しました。

- ・紙面による交付(令和4年度実績): 9,979件(うちコンビニ交付1,829件)
- ・アプリによる電子交付(令和4年度実績): 99,815件

ケ 医療機関への支援金給付

(ア) 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業支援金

市民が地域の身近な診療所等で接種が受けられるよう、接種実施医療機関の確保を図るため、個別接種及び訪問接種での接種実績に応じて、市内の医療機関へ支援金を給付しました。

- ・給付医療機関数: 246か所(令和4年度実績)

(イ) 集団接種会場への時間外・休日の医療従事者派遣支援金

集団接種体制を確保するため、休日や時間外へ医師等を派遣した医療機関に支援金を給付しました。

- ・給付医療機関数: 37か所(令和4年度実績)

コ 健康被害救済制度

予防接種後の副反応による健康被害については、極めて稀ではあるものの不可避免的に生じるものであることから、接種に係る過失の有無に関わらず迅速に救済することとなっており、ワクチンを接種したことにより健康被害が生じたと厚生労働大臣が認められた者について、救済給付を行いました。

国への認定申請に当たっては、相模原市予防接種問題協議会の調査報告を申請書に付して国へ進達しました。

- ・救済給付: 4件(令和4年度実績)
- ・認定申請件数: 24件(令和4年度実績)

3 性感染症予防対策事業

人権や社会的背景に配慮しつつ、HIV感染症(エイズ)等の性感染症の拡大の抑制と患者が安心して療養生活を送れる環境づくりのために、正しい知識の普及啓発、相談・検査体制及び患者等の支援の充実、性感染症対策を推進するための体制整備に努めました。

(1) HIV(エイズ)相談・検査

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1日あたりの検査人数を減らし月2回の検査(無料、匿名)を実施しました。また、患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話での相談については随時実施しました。

ア HIV(エイズ)相談・検査実施状況 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
--	--------	-------	-------	-------	-------

相談	1,035	920	15	120	396
検査	542	485	0	116	376

(2) 性感染症相談・検査

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1日あたりの検査人数を減らし月2回の検査(無料、匿名)を実施しました。また、検査項目は令和3年度より梅毒のみとしました。

ア クラミジア相談・検査実施状況 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談	886	765	0	0	0
検査	468	401	0	0	0

イ 梅毒相談・検査実施状況 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談	937	821	0	125	371
検査	496	432	0	116	369

(3) HIV(エイズ)予防啓発事業

HIV(エイズ)及び性感染症は、正しい知識を持つことや、適切な性行動の選択ができることが予防につながります。そこで、性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にある青少年に対し、市内の中学校や高等学校で講演会を実施しました。

また、世界エイズデーにあわせて、ハイリスク層を対象とした相談・検査を実施しました。

ア 「世界エイズデー」に伴う予防啓発キャンペーン

実施日 令和4年12月4日(日)

会場 ユニコムプラザさがみはら

内容 ハイリスク層を対象とした相談・検査

HIV(エイズ)・梅毒・B型肝炎の即日検査

イ 性感染症予防講演会の開催

対象	回数	人数(集会)	人数(オンライン)
中学校	19回	2,603人	
高等学校	6回	870人	163人

(4) HIV(エイズ)対策の推進に向けた体制整備

市民のニーズに応じたHIV(エイズ)対策を総合的かつ効果的に実施するために、マンパワーの充実とともに、保健医療、福祉、教育、NPO、市民等の協力連携の推進に努めました。

(5)エイズ対策特別促進事業

ア 近年、日本国内の梅毒患者報告者数は急増しており、患者年齢層20代から70代と幅広く、発生届を提出する医療機関は、泌尿器科、皮膚科、産婦人科等と多岐に渡っているなか、医療従事者に向け必要な知識や情報が得られる研修を実施し、日常診療における梅毒患者の早期診断早期治療を目的とし、市内の医療機関関係者を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和5年2月21日(火)
会場 南メディカルセンター 大会議室
内容 「急増する梅毒患者を見逃さない～梅毒の臨床現場～」
講師 プライベートケアクリニック東京 新宿院
院長 尾上 泰彦 氏
参加者数 10人(ZOOM 57人)

イ 中高生などの思春期の子供たちは、性感染症に関する正しい情報を得にくい背景があり、不安を持ちやすい状況にあります。また、若年層における性感染症の発生は上昇の一途をたどり、不妊の原因や健康被害への懸念もあります。そのため、思春期の子どもに多く接する教職員や養護教諭等を対象に、性感染症に関する知識と支援方法を理解することを目的に、講演会を実施しました。

実施日 令和5年3月6日(月)
会場 ユニコムプラザさがみはら
テーマ 「今必要な性教育とは ～未来を切り拓く性の学び～」
講師 特定非営利活動法人 ピルコン
代表 染矢 明日香 氏
参加者数 37人

4 肝炎対策事業

B型・C型肝炎ウイルス感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、無料でB型・C型肝炎ウイルス検査を実施しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
検査件数	102	99	56	37	41

5 予防接種事業

(1)定期予防接種

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施しました。

<定期予防接種の種類>

ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ(急性灰白髄炎)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)、Hib感染症、小児の肺炎球菌

感染症、水痘、B型肝炎、ロタウイルス及び高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第5期定期予防接種

ア 乳幼児等予防接種

乳幼児、小中学生等を対象に、協力医療機関(150 箇所)で予防接種を実施しました。
また、協力医療機関以外のかかりつけ医療機関等での予防接種に対して、費用の全部または一部を助成しました。

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	延接種者数		延接種者数		延接種者数		延接種者数		延接種者数		
計	129,481	(276)	122,363	(277)	128,447	(722)	118,440	(863)	130,109	(598)	
四種混合	20,513	(51)	19,480	(49)	19,227	(137)	18,198	(119)	17,103	(99)	
三種混合	0		0		0		0		1		
二種混合	1期	0	0		0		0		0		
	2期	4,387	4,242		4,668		4,087		3,947		
麻しん 風しん 混合	1期	5,189	(4)	4,866	(1)	4,780	(3)	4,478	(3)	4,581	(4)
	2期	5,427	(1)	5,366	(2)	5,220	(1)	5,155	(4)	4,855	(2)
	3期										
	4期										
麻しん	1		2		0		0		0		
風しん	2		0		0		0		0		
日本脳炎	1期	17,766	(9)	16,540	(7)	17,090	(11)	9,957	(5)	16,857	(10)
	2期	5,879		5,653	(1)	5,766		1,536		6,994	(2)
BCG	5,073	(7)	4,763	(8)	4,801	(26)	4,459	(17)	4,191		
不活化ポリオ	154		11		6	(1)	1		1		
子宮頸がん予防	41		87		508		1,717	(2)	6,336	(3)	
ヒブ	20,091	(69)	18,591	(72)	19,483	(171)	18,100	(193)	17,149	(132)	
小児用肺炎球菌	20,186	(69)	19,143	(74)	19,001	(170)	18,045	(191)	17,208	(132)	
水痘	9,934	(12)	9,620	(2)	9,631	(8)	9,011	(10)	8,736	(9)	
B型肝炎	14,838	(54)	13,999	(61)	14,016	(147)	13,381	(163)	12,606	(103)	
ロタウイルス					4,250	(47)	10,315	(156)	9,544	(102)	

* 延接種者数の () は、助成金制度の実施者数 (内数)

* 延接種者数には、区域外接種者を含む

イ 高齢者予防接種

< インフルエンザ予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等(352 箇所)で高齢者インフルエンザ予防接種を実施しました。

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65歳以上の方	183,527	79,537	184,821	111,890	187,231	93,983	188,768	96,368
60歳以上65歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳1級 交付者数 307	133	身体障害者 手帳1級 交付者数 305	169	身体障害者 手帳1級 交付者数 284	127	身体障害者 手帳1級 交付者数 284	129
合計	183,834	79,670	185,126	112,059	187,515	94,110	189,052	96,497

< 肺炎球菌感染症予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等(286 箇所)で高齢者の肺炎球菌感染症予防接種を実施しました。

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65,70,75,80,85,90,95,100歳の方*	27,941	5,722	28,154	7,577	28,876	6,094	21,125	5,007
60歳以上65歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳1級 交付者数 307	2	身体障害者 手帳1級 交付者数 305	0	身体障害者 手帳1級 交付者数 284	0	身体障害者 手帳1級 交付者数 284	1
合計	28,248	5,724	28,459	7,577	29,160	6,094	29,160	5,008

* 65歳以上の対象者数は年度の4月1日現在の住民基本台帳人口

* 令和元年度より、過去に接種履歴のある者を除いて対象者数を算出

ウ 風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第5期定期予防接種

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しん抗体検査並びに風しん第5期定期予防接種を実施しました。

< 対象者数 > 令和2年度 92,800人

令和3年度 79,726人

令和4年度 72,442人

区分	抗体検査実施数	予防接種実施数	合計
令和2年度	13,941	2,978	16,919
令和3年度	7,594	1,699	9,293
令和4年度	2,543	614	3,157

(2)任意予防接種

予防接種法に規定のない任意の予防接種について、次のとおり実施しました。

ア 風しん予防接種促進事業

先天性風しん症候群の発生防止を目的として、協力医療機関(171 機関)で風しん抗体検査及び予防接種を実施し、費用の一部を助成しました。

<対象者>

妊娠を予定または希望する女性、妊娠を予定または希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実施数	実施数	実施数	実施数
抗体検査	1,284	740	661	564
予防接種	893	738	696	643